

ファルコンTMフロアブル

園芸用殺虫剤

ファルコンフロアブルは、チョウ目害虫に脱皮促進作用を示し、すぐれた速効性を発揮します。

① 脱皮促進作用 2～3日後には致死。

本剤は幼虫の脱皮を急激に促進させます。
幼虫は成長が追いつかず脱皮失敗で死亡します。

② 食害防止作用 10数時間後にはストップ。

成分が体内に入ると、幼虫の生理状態は脱皮間近の状態に変わり食害が止まります。



ユニークな、
ファルコンの効果。

適用害虫と使用方法

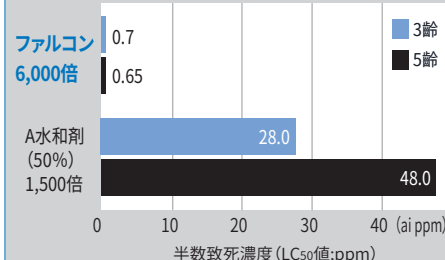
処理方法：散布

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール当り 使用液量(ℓ)	使用時期※	総使用回数※										
キャベツ	コナガ	1,000	150～300	7日	2回										
	アオムシ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ タマナギンウワバ	2,000～4,000													
	オオタバコガ	2,000													
	ハイマダラノメイガ														
	はくさい だいこん	アオムシ、ヨトウムシ				4,000	100～300	3日	3回						
ブロッコリー	ハスモンヨトウ ヨトウムシ	150～300	前日	2回											
はなっこりー	ハスモンヨトウ				2,000～4,000					3日	3回				
レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ											100～300	3日	3回	
非結球レタス	ハスモンヨトウ														150～200
ふぎ	シロイチモジヨトウ					100～300	3日	2回							
ねぎ	ハスモンヨトウ	100～300	3日	2回											
いちご	ハスモンヨトウ オオタバコガ				100～300				3日	2回					
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ										100～300	3日	2回		
ピーマン なす トマト	ハスモンヨトウ													4,000	100～150
	オオタバコガ					2,000～4,000	200	7日							
ししとう	ハスモンヨトウ	4,000	100～150	3日		2回									
	オオタバコガ				2,000				150～200	3日					
はすいも(葉柄)	ハスモンヨトウ				4,000						100～150	3日	2回		
つるな														100～300	前日
食用ぎく							100～300	前日							
食用金魚草		100～300	前日	2回											
食用なでしこ						100～300			前日	2回					
てんさい	ヨトウムシ				4,000～6,000						100～150	7日	3回		
りんご	ハマキムシ類				4,000～6,000						200～700	21日		3回	
	ケムシ類、ヨモギエダシヤク				6,000										
	キンモンホソガ	2,000													
おうとう、もも	ハマキムシ類	6,000	200～400	3日	2回										
なし	ケムシ類、ハマキムシ類					前日	2回								
茶	チャハマキ	4,000	200～400	摘採7日	2回										
	チャノホソガ	4,000～8,000													
	チャノコカクモンハマキ														
	ヨモギエダシヤク					8,000									

※使用できる収穫前の日数と、本剤及びメトキシフェノジドを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

中老齢幼虫にも活性が高い

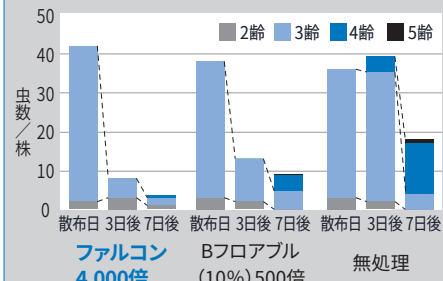
ヨトウムシに対する効果 (2000年 社内試験)



てんさい新葉の薬液浸漬法 (30秒間)。7日目の死虫数にて計算。

齢のすすんだ幼虫がいなくなる

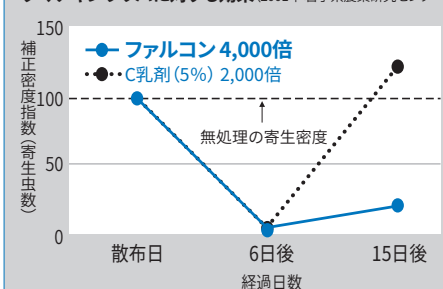
ハスモンヨトウに対する効果 (1999年 高知県農業技術センター)



作物：ピーマン(ビニールハウス、定植：9月27日)
発生量：10月28日に2、3齢幼虫を接種 散布月日：10月29日(栽培初期)

残効性があり、耐雨性に優れる

タマナギンウバに対する効果 (2001年 岩手県農業研究センター)



作物：キャベツ(定植：6月16日) 散布月日：7月10日(結球初期)

有用昆虫に影響が少ない

ミツバチ、マルハナバチなどの受粉昆虫や、幅広い天敵に対して実用濃度で影響がないことが確認されています。

◎ファルコンの影響がないことが確認されている有用昆虫

受粉昆虫天敵類

- セイヨウミツバチ ●マメコバチ ●ツチマルハナバチ (マルハナバチの一種、主に受粉に利用されている種類)
- カタグロミドリカスミカメ ●ズイムシアカタマゴバチ ●ケナガカブリダニ ●オオヒメグモ
- アシナガダマ ●チリカブリダニ ●ヒメハナカメムシ ●コレマンアブラバチ
- オンシツツヤコバチ ●ナミテントウ ●ハモグリミドリヒメコバチ ●イサエアヒメコバチ

効果・薬害等の注意

- 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- 使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- 散布の際は保護メガネ、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 桑に付着するおそれのある地域では使用しないでください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は、ほ場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2025年7月現在の知見に基づき、作成されています。